

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2020年 1～3月期の景況 / 2020年 4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は、下降線をたどっている。

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部会では市内中小企業(下記DATE参照)の景況動向等を把握するため、2020年1～3月期の実績と2020年4～6月期の予測を取りまとめた。本調査は3ヶ月ごとに年4回実施する予定。

全業種のDI値に見る前期から今期の業況は前回調査から▲12.1%の悪化となった。業種別では、製造業は▲29.4%から▲61.1%へ、卸売業は▲17.6%から▲42.9%へと大幅に悪化、サービス業は▲16.7%から▲35.7%へと悪化している。小売業は▲40.0%から▲29.4%へ、建設業は▲20.7%から▲19.2%へ僅かながら回復しているものの、依然として全産業でマイナスという結果であった。

来期の新規設備投資については、今期よりも1.8%減少する見込みとなった。

経営上の問題点については、建設業は15期連続、卸売業は10期連続で「従業員の確保難」が1位となった。さらに、それ以外の3業種(製造業は2期連続)では「需要の停滞」が1位を占めた。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは?

当調査のDIは、質問に対し「プラス」、「中立」、「マイナス」の3つの選択肢から「プラス」と回答した企業の割合から「マイナス」と回答した企業の割合を差し引いた値で、「変化の方向」を表します。

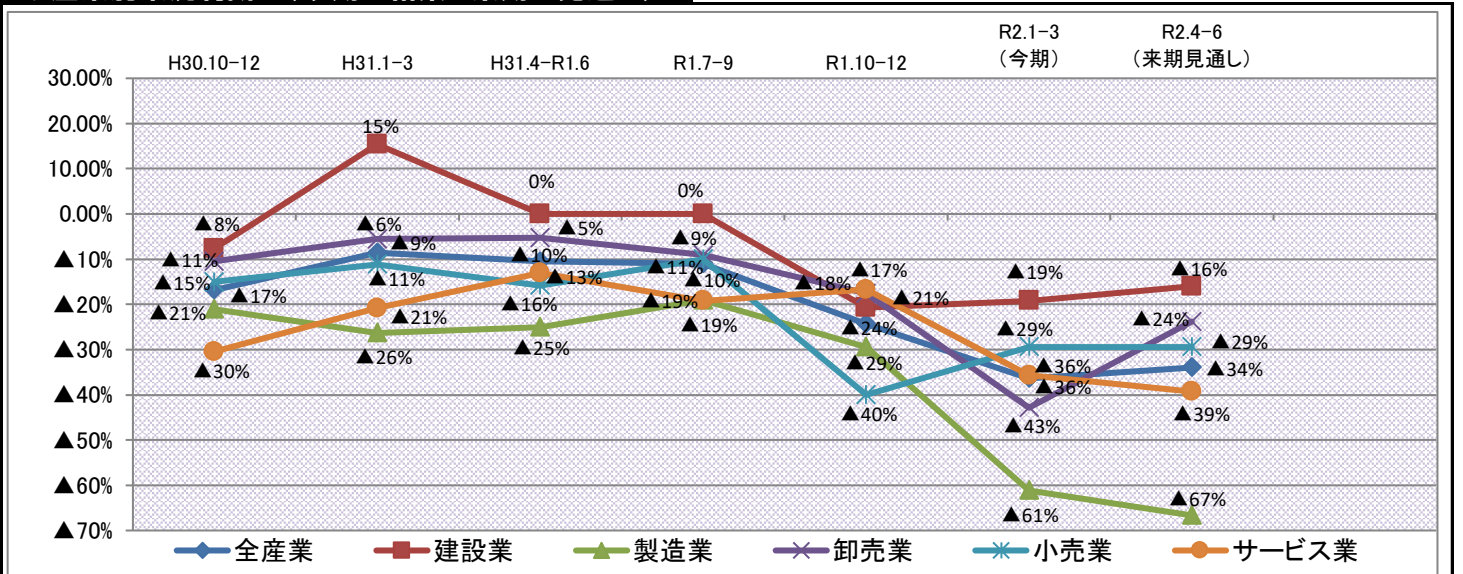
DATE

- 調査期間: 2020年3月13日～3月23日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業137社
- 有効回答企業数: 113社(82.5%)

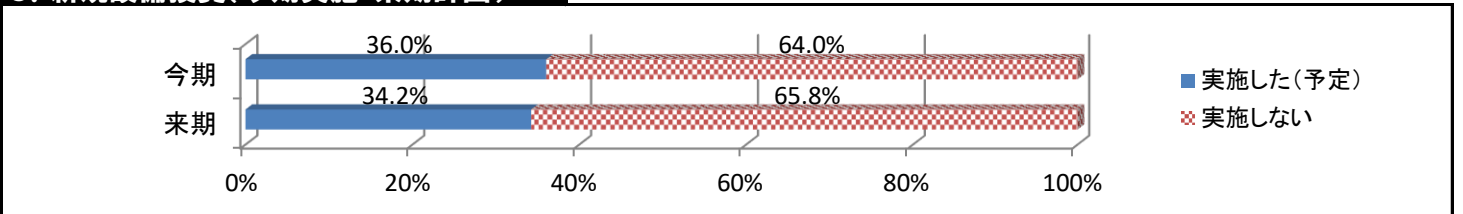
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前环比	売上高	前环比	資金繰り	前环比	経常利益	前环比	従業員数	前环比
全産業	▲36.4%	▲12.1%	▲33.3%	▲20.4%	▲15.5%	▲13.6%	▲30.9%	▲8.5%	▲13.6%	▲4.1%
建設業	▲19.2%	1.47%	▲23.1%	▲12.7%	▲7.7%	▲11.3%	▲19.2%	▲1.4%	▲23.1%	▲9.3%
製造業	▲61.1%	▲31.7%	▲47.4%	▲47.4%	▲22.2%	▲22.2%	▲50.0%	▲8.8%	0.00%	0.00%
卸売業	▲42.9%	▲25.3%	▲52.4%	▲19.1%	▲9.5%	▲4.0%	▲38.1%	▲21.4%	0.00%	▲11.1%
小売業	▲29.4%	10.6%	▲23.5%	▲8.5%	▲23.5%	▲3.5%	▲11.8%	8.24%	▲6.3%	15.97%
サービス業	▲35.7%	▲19.0%	▲25.0%	▲16.7%	▲17.9%	▲26.2%	▲35.7%	▲14.9%	▲28.6%	▲11.9%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 23.0%	需要の停滞 17.3%	従業員の確保難 21.4%	需要の停滞 19.6%	需要の停滞 26.1%
2位	熟練技術者の確保難 17.6%	生産設備の不足・老朽化 13.5%	需要の停滞 17.9%	従業員の確保難 15.2%	従業員の確保難 13.0%
3位	下請業者の確保難 14.9%	従業員の確保難 9.6%	販売単価の低下・上昇難 12.5%	消費者ニーズの変化への対応 10.9%	利用者ニーズの変化への対応 13.0%
4位	民間需要の停滞 13.5%	人件費の増加 9.6%	人件費の増加 10.7%	販売単価の低下・上昇難 10.9%	熟練従業員の確保難 8.7%